



農と輝の大地  
みのり ひかり  
 ともに暮らし、しあわせを感じる八幡平市



八幡平ドラゴンアイ(鏡沼)

八幡平市長 佐々木 孝弘  
 所在地 〒028-7397  
 八幡平市野駄21-170  
 TEL (0195) 74-2111  
 FAX (0195) 74-2102  
 URL <https://www.city.hachimantai.lg.jp/>



## ■市章■

八幡平市の「八」をモチーフとした青空に太陽が光り輝き、その下には市を象徴する3つの山(岩手山・八幡平・安比高原)と、裾野に広がる豊かな大地を配し、交流拠点・八幡平市の発展を表現しています。

■人 □■ 23,519人  
 ■世帯数■ 10,635世帯  
 ■面積■ 862.30km<sup>2</sup>

(令和6年1月末現在)

八幡平市は、県都盛岡市の北西約30kmに位置し、東西は約25km、南北は約45kmの市域を持ち、東は二戸市・一戸町・岩手町と、南は盛岡市・滝沢市・雫石町と、西は秋田県鹿角市・仙北市と、北は青森県田子町とそれぞれ接しています。

就業人口は、令和2年国勢調査で12,755人となっており、第1次産業は2,871人(22.5%)、第2次産業は3,163人(24.8%)、第3次産業は6,721人(52.7%)となっています。

古くから、秋田県へ通じる鹿角街道が縦貫し、現在では東北自動車道・八戸自動車道と国道282号、さらにJR花輪線が縦貫しており、基礎的な交通基盤が整った地域であるとともに、秋田県や青森県を含めた北東北3県でみた場合、八幡平市はこの3県のほぼ中心に位置しています。

八幡平市の南端には岩手山がそびえ、西部地域は八幡平をはじめとする奥羽山脈の山々が南北に連なり、中央部には安比高原、また、前森山、七時雨山、田代山などの山々が横断しています。

これらの山々を源として、八幡平市は大きく3つの水系に分けられます。

南東部は北上川水系に属する松川、赤川、涼川、長川が集まって、肥沃な盆地を形成し、農業をはじめとする産業が活発に展開されています。

中央部から北東部は馬淵川水系最大の支流、安比川が太平洋に注ぎ、北西部は米代川が日本海に注いでおり、川沿いに平坦地が開け、集落を形成しています。

八幡平市は、広大な面積を有しており、南東部は太平洋側気候、北西部は日本海側気候の影響を受け、夏冬の寒暖の差が大きく、夏の降水量は比較的少ないですが、冬の降雪量が多い地域となっています。

交通 JR花輪線(東大更、大更、平館、北森、松尾八幡平、安比高原、赤坂田、小屋の畑、荒屋新町、横間、田山、兄畑)東北自動車道(西根IC、松尾八幡平IC、安代IC)

観光 十和田八幡平国立公園 岩手山焼走り熔岩流、安比高原

特産品 雨よけほうれんそう、安代りんどう、八幡平牛、安比塗漆器、山ぶどう製品

イベント 八幡平ふるさと花まつり(8月15日)、八幡平山賊まつり(10月上旬)、八幡平・安比ゆきフェスティバル(2月下旬)

主な誘致企業 積水メディカル(株)岩手工場、(株)ニュートン、西根工業(株)、八幡平電機(株)、ザマ・ジャパン(株)、シミックCMO(株)西根工場、(株)ダイヤプレス岩手工場、(株)住宅工業岩手工場